

# 電気・通信・電子・情報工学実験X報告書

題目                      X-2 使い方

実験日                    令和   X年   X月XX日

報告書提出日   令和   X年   X月XX日

東北大学 工学部 電気情報物理工学科

XX工学コース            X班

報告者                  XXXX (学籍番号 CXTB2000)

共同実験者   XXXX

XXXX

XXXX

XXXX

# 令和X年度 学生実験X レポート

実験題目： 使い方

学籍番号： CXTB2000 氏 名： XXXX

XX コース X 班 実験日： 2000/1/1 提出日： 2000/1/1

共同実験者名： XXXX XXXX XXXX XXXX

## チェックリスト (チェックした項目の□を☑に変えながら、確認すること)

### 書 式

- ☒ グラフ、プログラムリスト、表、写真以外の部分は丁寧に書かれているか。
- ☒ 実験計画書、目的、概要 (原理・方法)、結果、考察、まとめ、参考文献の順にまとめているか。
- ☒ 実験指針を丸写しせず、自分の言葉も含めてまとめているか。
- ☒ 実験結果、および考察 (検討) は過去形で記してあるか。また、普遍的な内容は現在形で記してあるか。
- ☒ 実験指針に記載されている考察の項目にすべて回答しているか。
- ☒ 引用箇所を明示し、参考文献リストと対応づけているか。
- ☒ 参考文献リストは、以下のフォーマットで記してあるか。
  - 論文誌などを引用する場合：  
[1] 著者名, " 標題, " 雑誌名, 巻, (号,) pp. を付けて始め-終りのページ, 月年.
  - 著書、編書を引用する場合：  
[2] 著者名, 書名, 編者名, 発行所, 発行年.
  - 著書の一部を引用する場合：  
[3] 著者名, " 標題, " 書名, 編者名, 章番号または pp. を付けて始め-終りのページ, 発行所, 発行年.

### 図・表

- ☒ グラフには横軸、縦軸のラベル (変数名と単位) を記しているか。
- ☒ グラフを 90 度回転させて掲載する場合、回転方向は反時計回りか。
- ☒ 図や表には、図 1、表 1 のような番号づけをしているか。
- ☒ 「単位」が正しく SI 単位系で記載されているか。
- ☒ 図の説明文は図の下側に、表の説明文は表の上側に記しているか。
- ☒ グラフの表現方法は適切か (不適切な曲線補間をしていないか、グラフと記録条件の対応がわかるようにしてあるか等)。
- ☒ 本文で図や表について説明をしているか。

## ▪ 1. このテンプレートについて

### ▪ 1.1. このテンプレートの使用対象

このテンプレートは、電気・通信・電子・情報工学実験 A・B・C の報告書及びレポートを作成するためのものです。

### ▪ 1.2. 使用上の注意

1. 授業内で配布されているテンプレートは word 形式ですが、このテンプレートは配布された word 形式のファイルを L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X で書き直したものです。
2. このテンプレートで作成したレポートを提出した場合、指定の提出フォーマットと異なる部分があるため、提出を受け付けられない場合があります。利用は自己責任で行ってください。
3. 再配布につきましては、個別に確認してください。
4. また、テンプレートが授業で配布されたものと異なる時等に有益な改変を行った場合には、このリポジトリにプルリクエストを行ってください。
5. 以上の注意を守れる方のみ、このテンプレートを使用してください。

## ▪ 2. このテンプレートの使い方

### ▪ 2.1. 全般的な注意

このテンプレートは LuaLaTeX を使用して作成しています。他の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X のコンパイラでは、フォントやレイアウトが異なる場合があります。LuaLaTeX を使用してください。

表紙の部分を表示するために多数のパッケージを使用しています。必要なパッケージをインストールしていない場合、エラーが出ることがあります。その場合は、TeX Live などを用いて必要なパッケージをインストールするか、Overleaf や CloudLaTeX などのオンラインエディタを使用してください。

### ▪ 2.2. 利用環境別の注意

#### 2.2.1. Windows

1. 使用するフォントを MS 系列にするためには、ソースコード 1 のように書き換えて使用してください。

ソースコード 1 書き換え例

```
1 % \usepackage[hiragino-pron]{luatexja-preset}
2 \usepackage[ms]{luatexja-preset}
```

#### 2.2.2. Mac

1. 使用するフォントをヒラギノ系列にするためには、ソースコード 2 のように書き換えて使用してください。

ソースコード 2 書き換え例

```
1 \usepackage[hiragino-pron]{luatexja-preset}
2 % \usepackage[ms]{luatexja-preset}
```